

第7回池田町義務教育のあり方検討委員会 会議録（概要）

日 時	令和7年9月4日（木） 午後6時～午後7時30分
場 所	池田町役場2階 大会議室
出席委員	委員長 池田園小運営協議会代表 梅牧 力 副委員長 高瀬中運営協議会代表 宮本 和紀 会染小学校 PTA 代表 栗林 絵美 高瀬中学校 PTA 代表 藤井 周二 自治会協議会副会長 中山 廣忠 会染小学校長 池内 博 高瀬中学校長 原 毅 識見を有する者 村瀬 公胤 識見を有する者 下川 威 識見を有する者 丸山 史子 公募による者 丸山 尚子、佐藤 豊 池田町社会福祉協議会会長 中嶋 一光
欠席委員	会染園小運営協議会代表 櫻井 康人 池田保育園保護者代表 貝梅 直輝 池田小学校 PTA 代表 皆川 瑞穂 池田小学校長 工藤 美恵 自治会協議会会長 常盤井 智美 公募による者 平林 利香子
事 務 局	教育長 山崎 晃、学校保育課長 井口 博貴 学校保育課学校保育係長 高木 さおり 学校保育課学校保育係 丸山 智史
書 記	学校保育課学校保育係長
傍 聴	6人

1 開会

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議

*少子化を見据えた学校のあり方(第5回の意見から)、町民アンケート

(1) 熟議 グループワーク

グループA：中山 廣忠、藤井 周二、丸山 史子

グループB：中嶋 一光、下川 威、池内 博

グループC：丸山 尚子、佐藤 豊、宮本 和紀

グループD：栗林 絵美、梅牧 力、原 毅

(2) 熟議 各グループの代表者より発表

(A グループ、藤井委員)

町の財政や予算等を考えると早めに統合した方がいいと思っているが、当分の間は移住定住の推移を見てから判断しても良いと考えている。

(B グループ、池内委員)

統合にしても義務教育学校にしても実施するまでに5年もしくはそれ以上の準備期間が必要なので、現状のままで良いと考えている。グループ内で出た課題として、教職員の人数が少なければ一人一人にきちんと支援が届くか心配という意見や、実際に統合した時に教室数が足りるかという事も考えないといけないという意見も出ているので、現状のままだとしても学校のあり方を考える必要がある。

(C グループ、佐藤委員)

合意できたのは、クラス替えはしたいので複数のクラスになればということと、教職員の確保がポイントになるので、何らかの対応は必要なのでは思っている。

統合に関しては目安時期含め意見が分かれたが、統合しなくても結果的に2クラスになれば先ほども話したとおりクラス替えをしたいとの思いである。

(D グループ、原委員)

ここ数年は現状維持ということで、ただ3年後から5年後については再度検討する必要があると感じている。その先、統合や義務教育学校にするといった先の話については議論していない。

(3) 答申に向けて

(丸山尚子委員)

あと1回～2回でまとめないといけないと思っているがどのようにまとめるのか気になっている。今日は人数も少なく私自身も内容を飲み込むまで非常に時間がかかり、私自身の意見を自信持って言えることもなく統合か見送りという意見を聞いていて思ったが、数年後に見送りって言って今回の答申をまとめるのも2年かけてやったことが見送りで、また次3年後や何年後かにもう1回再度考えてとなった時に、今までの議事録などを見てても、考える方たちがゼロから議事録や経過を読み返して2年間のやり取りを想像しさらに深めて、話を詰めていくことに心配している。

(中山委員)

何年後にまた同じような会議を開いて検討するということは正直に言って無駄だと思っている。

今から考えてちょうどいい時期じゃないかと思っていて、今日の資料を見る限り人数はずっと減っているののでどうしようもない現状になっている。これ以上増えることがあれば良いが具体的なものはないので、何年後じゃなくて、今日から考える方向でこの会議を進めていかないと、今まで会議でやってきたことが見送りになって、同じことを繰り返すと思っている。

(丸山尚子委員)

統合しても統合しなくても義務教育学校になっても、学校のハード面としての設備や教室数は足りるのかとか足りないのかとかというような現実的な内容のものと、子供をどのように育てていきたいかというようなことを両面鑑みて答申をまとめてほしい。

義務教育学校になった場合のメリット・デメリット今のままにした場合のメリット・デメリット子どものアンケートの要望、保護者の要望、教員の要望として書き出して比較できるような答申にしたら良いと思っている。

(梅牧委員長)

下川委員から義務教育学校について意見があるということでお聞きしたい

(下川委員)

今のところ義務教育学校を作るならその中身を考えなければいけないと思っているが、一つだけ良いとすれば9年間で子供を育てるということで、小学校の先生たちは中学卒業後の姿を想定して、どのように育てていくかということで教育課程が作られれば、非常に良いことだと思っている。しかし、実現するためにはかなり準備が必要になるので時間的に難しいとも感じている。

(丸山尚子委員)

今の分かっている義務教育学校の課題は何か。

(下川委員)

義務教育の学校での課題として挙げるのは、区切りがつけられない卒業式や入学式といった行事によるリセットが出来ないことが多い。学校が変わると環境が変わりそれで良くなることもあり、それが全て当てはまることではないが新しい場所で新しい環境で頑張ることが出来にくい。

(梅牧委員長)

私が言っているいかどうかも含めて、そこまで全部考えてしまうと考えきれないと思う。これまで議論をしてきた2年間で答申をどのように持っていくか、統合という形で持っていくのか等を検討している。それをやらないと課題解決にならないので皆さんから意見を出せるよう委員長として心掛けている。

(中山委員)

この委員会は現状の課題について、解決するために来ていると思うが、個人的な意見を述べても良いのか、それとも私の場合は自治会代表で委員になっているので、自治会の立場で発言して良いかが分からない。

(山崎教育長)

個人的な意見で良いと思っている。

(丸山尚子委員)

池田町の教育を熟知している村瀬先生のアドバイスを聞きたい。

(村瀬委員)

どうしてこんなに悩むのかなと思った時に、今日も改めてデータを確認したが本当に微妙な数になっている。もっと人数が少なければ統合、もっと人数が多ければ現状維持というような方針になるが、この人数が私の色々な経験からしても一番悩む数字だと言える。今後の町の方針を決めるにあたって、考えなければいけないことは沢山あるが積み上げてきたものをちょっと整理した方が良いと考えている。先ほどメリット、デメリットという話もあったが、それぞれをしっかりと書き連ねていくことで答申と出来るのかは、確かに何か今まではつきりさせてこなかったかなとは思っている。

いずれにしても、非常に難しい数字だと私の専門性の立場から意見を述べたい。

(山崎教育長)

今までの意見を聞いていると、おおよそ二つの意見が出ていると理解した。一つは当分現状のまま何年という期間はないがしばらく様子を見るということと、もう一つは5、6年という期間で統合あるいは現状でいくという意見が出ている。答申を出す時は滞りなく書き連ねたいと思っている。

(梅牧委員長)

具体的に答申について、委員の方に意見を發表してもらった方が良いのか、それともたたき台みたいなものを作成して具体的に加えたいことやここは削除する協議を実施するかどちらが良いのか意見を聞きたい。

(佐藤委員)

今すぐ決めるわけではないので、たたき台に付随したところも検討した上で判断をする形で答申を作っていく方が私は判断しやすいと思っている。

(梅牧委員長)

それともう一つ難しいところになるが、町民アンケートをどうするかという問題がある。この委員会のある程度の方針がしばらく定まらない内にアンケートを取るわけにもいかないので、町民アンケートについて何か意見はあるか。

(丸山尚子委員)

保護者、こども、教員、という当事者から少し離れた年配層の一般町民に当事者と同じアンケート質問をする意図がわからないと思っている。案に年代ギャップだけが浮かびあがる為だけなら、取る意味がないように思っている。

(梅牧委員長)

町民アンケートの内容について検討が必要になるが、前回のアンケートのように細かく答えてもらうのは難しいので、AかBで答えてもらうといった二者択一のようなものを想定している。

(佐藤委員)

もしアンケートを取るならば、この委員会としてある程度方向性の出たところの部分について絞り、近況を踏まえてアンケートを作って準備して進めた方が良いと思っている。

(村瀬委員)

アンケートを取るのにはメリット、デメリットが必要だと感じていて、2択・3択にしてのアンケートは答申にはふさわしくないと思っている。

(梅牧委員長)

アンケートのようなその場で数字が出てくるものを、答申に組み込むことが本当にいいことなのかどうかは、個人的に判断が難しいと思っている。今出た意見などを参考にして現状維持か統合もしくは義務教育学校にするかを検討し答申でまとめて書き出したいと思っている。

5 その他

- 6 連絡 第8回検討委員会は11月26日(水)18時より池田町役場大会議室で開催する。
第9回検討委員会は1月26日(月)18時より池田町役場大会議室で開催する。
*必要に応じて臨時で委員会を設ける場合がある。

7 閉会